

3年学年だよ

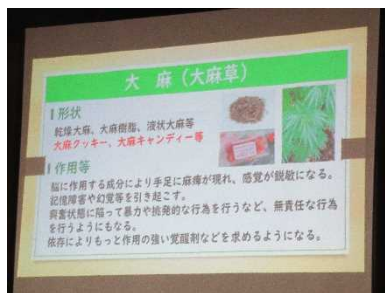
金沢市立浅野川中学校
令和8年6月30日号

薬物乱用防止教室

6月19日（金）に金沢東警察署 生活安全課より講師の五十嵐佳乃さんをお迎えして、薬物乱用防止教室が行われました。薬物の有害性や依存性について、また薬物乱用の実態や誘われたときの断り方について、お話を聞かせていただきました。生徒の感想を紹介します。

薬物がお菓子に似ているのは良くないと思った。DVDで、主人公は薬物に反対してたけれど、一度使うともうだめなのがあった。だまして飲ませるのは非常に良くないと思った。闇バイトにも触れられていて危険はSNS等を通じて思ったより身近にあることが分かった。 Oさん

今回の薬物乱用防止教室で「薬物乱用」の怖さや恐ろしさを改めて感じた。小学生の頃から「薬物乱用・麻薬はダメ」言われてきたけど、今回見たDVDでその依存性があそこまで強いとは思ってなかったので、「一度でもダメ」という言葉の意味がしっかり分かった気がした。 Kさん



今日の薬物乱用防止教室で改めて薬物の怖さを知ることができました。特に一度でも手を出してしまうのと自分の意思ではやめられなくなる依存性の怖さが印象に残りました。薬物は脳や体をボロボロにし、自分の将来だけではなく、家族や周りの大切な人まで傷つけてしまうと知りました。 Hさん

薬物乱用防止教室を終えるまで、薬物は遠いものだと思っていたけど、身近にあるから気をつけなければならないと感じました。私たちが普段使うこともある市販薬でも、使い方や量を間違えばオーバードーズになると聞いて驚きました。 Kさん

私も「一回だけなら」と思って薬物に手を出してしまうかもしれないと思った。でも、今日の動画を見て、改めて薬物の怖さが分かった。自分を止める力と誘ってきた相手を止める力のどちらも大事だと思った。

Mさん

薬物のことは2年の保健体育の授業で学習済みだったけれど、改めて薬物の怖さについて分かった。依存性が高いから1回でも使ったらおわりだと思った。今、薬物の危険なものが簡単に手に入ってしまう。先輩や友達から誘われても絶対に手を出さないようにしたい。勉強や人間関係がづらくなっても薬物は使わない!! Hさん

